



ライダー育成プロジェクト ～九州から世界へ！！～



無限の可能性のある若者や子供たちを全国へそして世界へ羽ばたかせましょう！！
モータースポーツ活動のリアルな体験は、子供達を劇的に成長させます。

【育成プロジェクト 3つの柱】

- ★『レーシング講習会 ミナキ塾』
- ★ジュニアライダー達の環境の整備
- ★金銭的&人的サポート

《ミニバイクコースやサーキットで走行の基本を指導する》

《ジュニア選手(原則19歳まで)へ幅広い支援を行なう》

才能や実績のあるライダーを選考し実質的なサポートを行なう。

はじめに

こんにちは、RSG代表皆木（ミナキ）です。お忙しい中、この企画書をお読みいただきありがとうございます。私は大小様々なサーキットがあるこの九州から、2輪モータースポーツの世界チャンピオンを輩出したいと夢見ています。子供たちの無限の可能性を育て飛ばたかせるためには、他のスポーツと同じような若年層からの「指導システム」と「資金的支援」が必要です。しかし日本のモータースポーツには、このどちらも全く確立されていません。そのためRSGは『育成プロジェクト』（育成基金）を発足させることにしました。（特に九州は情報も入り難く、支援者も少ない。）

またこの活動のもう一つの大きな意義は、「モータースポーツ」による『人間形成』です。レース競技は練習するための事前準備（整備・調整）に多くの時間を要し、それを怠れば結果が出ないばかりか自分、他人への危険も伴います。また間違った操作は即転倒という「痛い、悔しい」現実が突き付けられます。このような成功体験、失敗体験をリアルに感じることは、現代の子供たちにとって貴重な経験になるはずです。またサーキットでの練習は、親以外の手を借りる事も多く挨拶・礼儀が必須となるのでとてもいい社会勉強になります。このように素晴らしいスポーツですが、ご存じの通りとてもお金が掛かるという側面も持っています。気持ちと才能があるのにも関わらず家庭の事情で思い通りのレース活動が出来なかったり、途中で断念するライダーが多くいるのが現状です。このプロジェクトは、そんなジュニア&ヤングライダーを応援するためのプロジェクトなのです。子供たちには「無限の可能性」とリスクを恐れない「チャレンジ精神」、そして損得勘定のない「純粋な思い」があります。私は彼らの成長に夢を見ます。2輪車製造大国である日本から、そしてオートバイ天国と言われる九州から、全国へそして世界チャンピオンを育てる取り組みにご協力頂けたら嬉しいです。

RSGレーシング監督兼コーチ 皆木栄人

①レーシング講習会（ミナキ塾） *不定期で合同練習を行います。

ライディングはスポーツです。まずは基本技術を習得します

『レーシング講習会 ミナキ塾』のカリキュラムや練習会の中でマンツーマン指導を行ない、ライディングの技術UPをさせます。

②メンタルの指導

スポーツ選手としてのメンタル。人としての心と行動を養います

『負けられない心(ライダースピリッツ)』と『自立した心と行動』、この二つがこれからの選手には必要です。そしてそれを養えるのがモータースポーツです。

③広範囲の支援と選抜選手への資金援助(スカラシップ)

広範囲支援……講習会費や合宿時の宿泊代の補助などの支援を広く行なう

A・B選抜選手 ライディングセンス・アスリート気質・家庭環境などを考慮し選抜

マシン貸与、上位カテゴリーへの参戦支援、GPに繋がるアジアタレントカップなどへの参戦支援、などその時そのライダーに合った支援をします。



毎年『出光アジアタレントカップ』セレクションがマレーシア セパンサーキットで行なわれる。アジア各国から1次選考を通過した12才～20のライダーのうち数名が合格。過去にミナキ塾からも大田隼人選手も参加。現在motoGPの各クラスで活躍する選手たちはほぼこのシリーズのランキング上位者。

現在のレース環境とは？

世界へ飛び出すには「実力」「資金」「気持ち」「運」全てが必要です。しかしその前段階で資金と人員的に大きな壁になるのが現実です。(一般家庭でまだ若い親御さんでは難しい額です。)

レースカテゴリーから見る、世界への道

★レース参戦を開始！！★

《ポケバイ、ミニバイク》

- ◆開始年齢 5才位～
- ◆活動最低資金 年間 30～60万円
(※競技用マシン代30万は別途)
- ◆活動拠点 各県に1～2ヶ所のミニサーキット

新しい
流れ

★FIM MINI GP JAPAN シリーズ

*ドルナ(MOTOGP)企画

- ◆ワンメーカー車両レース *10～14才
- ◆年間エントリー33万 *選考あり
- ◆ランキング上位者は世界大会へ出場し優勝者はその先へ。

★HRS(ホンダレーシングスクール)★

- ◆鈴鹿南コースで年会20回以上開催
- ◆入校費 約70万 *入学に選考あり
- ◆上位クラス(アドバンス)のトップは、翌年アジアタレントCUPへの可能性大

★ロードレース地方選手権(年5戦程度)

- ◆開始年齢 13才位～
- ◆必要最低資金 年間80～150万(車体別)

地方選手権の上位で国際ライダー(プロラセンス)へ昇格

全日本選手権 フル参戦&スポット参戦

- ◆必要最低資金 西シリーズのみ200万～
全戦400万～ *クラスによる
(※競技用マシン代は別途)
- ◆成績を残せばメーカー系チーム所属のチャンスもある。最近では「世界耐久選手権」に日本チームの参戦も増えているので世界デビューもあり。

★世界選手権★

スーパーバイク
スーパースポーツ
世界耐久選手権

モトGPへ繋がる育成レースへ

★出光 アジアタレントCUP★ 《主催ドルナ(MOTO GP)》

- ◆マレーシアで行なわれるオーディションなどにより決定。《14才～20才まで》
- ◆レース参戦費用は不要。ライダー渡航費などは自費。
- ◆必要資金/開催場所 **メカニック同行で200万～300万** *アジア各地のサーキットで開催

上位者はMOTO GPの下部レースへ

★レッドブル ルーキーズCUP★

《ドルナ(MOTOGP)協力》

- ◆アジアタレントCUPで好成績を収めたライダーやセレクションで選ばれる。
- ◆条件により相当な金額が必要
- ◆モトGP時に同時開催

★CEV レブソル

ジュニア世界選手権★

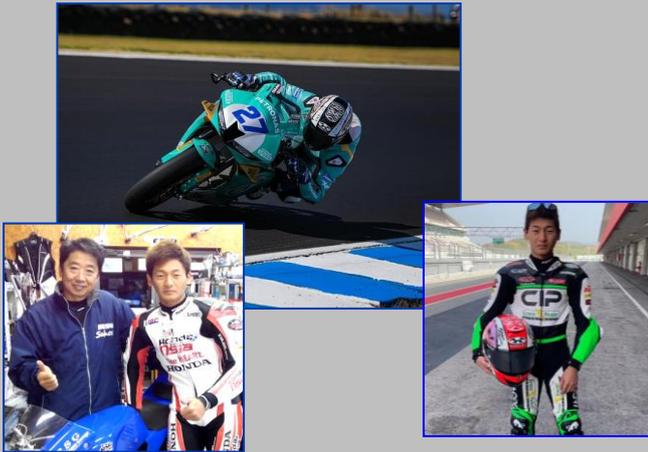
《ドルナ(MOTOGP)主催》

- ◆アジアタレントCUPで好成績を収めれば「アジアタレントチーム」として参戦。
- ◆条件により相当な金額が必要

チャンピオンを取ってMOTO3ライダーへ！！

九州から世界選手権へ参戦したライダーたち（過去、現在）

子供時代RSGのスクールへ参加していた選手たちが世界の舞台で頑張っています。そしていよいよ「ジュニア育成プロジェクト九州から世界へ」の初期のメンバーの綿貫舞空くんが飛び立ちます。今まではアジアタレントカップ⇒ルーキーズカップそしてMOTO3へという道ばかりでしたが、全日本から市販車の世界耐久選手権という新しい道です。YAMAHA系のフランスのチームから世界耐久選手権へチャレンジします。



鳥羽海渡選手。アジアタレントCUP初代王者。7年間のMOTO3を経て2024シーズンからWSSワールドスーパースポーツとMOTO2ヨーロッパ選手権へスイッチ。
下左は、RSGスクール参加のころの鳥羽選手と鈴鹿8耐SST優勝ライダー清末尚樹選手。



古里太陽選手
鹿児島県出身 SRSに通いアジアタレントカップチャンピオン獲得。飛び級で2022年モト3へ駆けあがりモテギGPではポイントGET!
2024年も引き続きMOTO3へ参戦。



真崎一輝さん
レッドブルルーキーズカップチャンピオンを獲得しMOTO3クラスへ参戦2020年引退
上右はアジア選手権時代九州ミニバイク、全日本では抜群の速さを誇った。



綿貫舞空選手
ジュニア育成ミナキ塾初期のメンバー九州のレースを経て、全日本ST600、ST1000そして2024年いよいよ世界耐久選手権へチャレンジ。

2024年 RSGジュニア育成&ヤングサポートライダー

現在の「心技体」と「将来性」を見極め選抜しサポートを行っています。

ジュニア育成 B サポートライダー 《2024年 鈴鹿サンデーロードレースGP3 チームHRSから参戦》

★サポート内容 九州での練習及び九州でのレース参戦時のサポート。また練習用タイヤ購入時にサポーター資金を投入し安価での支給やパーツ用品のサポート。

戸高 綸太郎くん (とだかりんたろう) 福岡県 HRS (ホンダレーシングスクール) アドバンスに通う 15才

- ◆2022年 ミニバイクレース/ CBR CUP スポット参戦
★HSR九州 CBR CUP コースレコード樹立!
- ◆2023年活動 HRS ベーシッククラス主席卒業。アドバンスクラスへ。
CBRCUP 鈴鹿大会 2 連勝/SPA 直入太田隼人のレコードを更新
- ★2024年活動 チームHRSとして鈴鹿サンデーRR GP3 ヘフル参戦。九州でトレーニング。

★目標 鈴鹿サンデーロードレースチャンピオン/特別枠で鈴鹿全日本選手権へ出場



育成ライダー CBR CUP に参戦

★サポート内容 ライディングアドバイスやレース必要品のサポート価格での支給

立野 礼恩くん (たつのれおん) 福岡県 今年はCBRCUPで勝負する 16才

- ◆2022年 Mini GP シリーズ ランキング 11 位
- ◆2023年活動 HSR九州 CBRCUP ランキング 2 位

★目標 シリーズチャンピオン&コースレコード



A 選抜ヤングサポートライダー

★サポート内容 マシン貸与 (CBR600RR) *実績を考慮
その他スタートUP 機材の貸与やタイヤ用品などのサポート

沖勇也くん (おきゆうや) 熊本県 *元トライアル国際B級ライダー

- ◆年齢 25才 ◆レース歴 1年
- ◆2022年活動 九州選手権 ST1000 SPA 直入 予選コースレコード (のち削除)
オートポリス ST1000 優勝
九州モタード選手権 HSR九州 優勝
九州モトクロス選手権 ランキング 3 位

★2024年活動 HSR 選手権/ポリスバ選手権 ST600 参戦

★目標 全勝でシリーズチャンピオン&コースレコード



特別サポートライダー ★チーム卒業後も支援をしているライダー

★サポート内容 ライディングやサスペンションセッティングのアドバイスなどの
後方支援的サポート

大田隼人選手 (おおたはやと) 山口県

- ◆年齢 19才
- ◆戦歴 2019・2020 九州選手権チャンピオン
★SPA直入コースレコード(CBRCUP・GP3)
- ◆2022年主な戦績 全日本ランキング 23位
- ◆2023シーズン 全日本ランキング 13位
*チーム/クラス マルマエ&クラブパリス/全日本 GP3 クラス
- ◆2024シーズン 全日本 GP3 クラス参戦

★目標 オートポリスでの表彰台/全日本一桁ランキング



「ミナキ塾」参加ライダー その後の活動や応援

綿貫舞空くん (わたぬきまいく) 福岡県 19歳

- ◆2022年 伊藤レーシングより ST600へ参戦
- ◆2023年 TONEレーシング ST1000

- ★2024年 世界耐久選手権ヤマハ系チーム所属
- ◆マシン BMW1000RR

★育成プロジェクトから
支援金支給



石川颯人 (いしかわはやと) 山口県 17才

- ◆活動 岡山&鈴鹿選手権 GP3 参戦
- ◆ライディングのアドバイスを行う

岡本颯真くん (おかもとそうま) 大分県 16歳

- ◆活動 ミニバイクの練習。車免許取得を待つ日々
- ◆ミニバイクで合同練習を行う

古谷匠くん (ふるたにたくみ) 山口県 18歳

★オートレース選手



育成基金へのお願い

この『ジュニア&ヤングライダー育成プロジェクト』は、以前の鈴鹿8耐プロジェクトの時の様な派手な活動ではありません。地味な地道な活動なので見栄えのいい写真の提供やビックレースでの成績の報告はあまり出来ないと思います。しかし若いライダーたちが一生懸命にレース活動をする中で成長する姿を報告する事は出来ます。そんな彼らを長い目で見守って頂けたら嬉しいです。

希望される企業様、個人様にはロゴなどを入れて参戦し、LINEやFacebook、RSG HP上で配信させていただきます。

どのスポーツでも低年齢化がすすみ世界への道も10代のうちにほぼ決まってしまう。この大事な時期をRSGと一緒に子供たちの活動を支援して頂けたら幸いです。また九州レースシーンから全日本の舞台へ飛び立つヤングライダー(20才～)にも応援よろしくをお願いします。

RSGレーシング監督兼ライディングコーチ 皆木栄人

ジュニア&ヤングライダー育成基金募集の内容 ★現在サポーターステッカー制作中！！

【育成基金サポーター】

◆一〇万円から、**育成サポーター**になって頂けます。

《ライングループでレース日程、練習内容、現地からのレース配信などを行います》

【ジュニア育成基金スポンサー】

◆10万円以上の協力者様には、**育成スポンサー**になって頂けます。ご希望により選抜選手のマシンに企業名、ブランド名、個人名などを表示させて頂きます。表示の大きさの目安は以下となります。また希望者様にはオートポリス全日本の入場チケットをプレゼントさせて頂きます。

特大サイズ枠(両面)
《チーム名にも記載》
200万円

《下部》中サイズ枠
(両面)30万円

《下部》大サイズ枠
(両面)50万円

《下部》小サイズ枠
10万円



★現在サポーターステッカー制作中！！

◆RSGレーシングの他のマシンにも表示します。



RSG 《RIDING SPORTS GARAGE》とは

イベント部門

- ◆サーキットでのライディングスクールを開催。
主催イベント年25回/他メーカー委託イベント年10回
毎年の受講者は1000人以上
- ◆タイヤメーカー、ディーラーなどのスクールを企画運営
- ◆ミニバイクレース主催
- ◆福岡近郊での基本走行スクール開催



ショップ部門

- ◆所在地
〒811-1242
福岡県那珂川市西隈4-9-5
☎092-951-2299
fax092-951-2288
E-mail j-minaki@bb.csf.ne.jp
HP RSGで検索して下さい。
- ◆車両販売/レース車製作・販売
- ◆バイク用品販売
- ◆サスペンション/エンジンメンテナンス



レーシング部門

- ◆『RSGレーシング』2007年設立（RSGライディングスクールは2002年より開校）
- ◆九州選手権 2009年～2023年
国内クラス チャンピオン獲得9度 / 国際クラス チャンピオン獲得7度
- ◆全日本選手権 最高順位4位 ◆鈴鹿4時間耐久レース 最高順位7位
- ◆RSGから鈴鹿8耐ライダーを5名輩出
- ◆鈴鹿8耐参戦 2015～2017 2015・2017完走
- ◆協賛企業 岡田商事/D1ケミカル/OGK/大同工業/ピレリ/ダンロップ/高橋商事/クシタニ/アクティブ J-TRIP/ヒットエア/GETHOT/ヤマモトエンジニアリング/SPA直入/HSR九州(株)/オートポリス/月間WithBIKE/ホンダドリーム北九州/医療法人あおぞら胃腸科/エーサット/NRM グッドサポート/阪九フェリー/米田建設/タジマエンジニアリング/(株)佐賀シューズ/原開発工業



RSG代表 皆木栄人 59歳

国際A級ライダー/インストラクター歴30年。

80年代後半から90年代後半にかけて全日本選手権転戦。
鈴鹿8耐などに参戦する傍ら、自らのチームを立ち上げ後輩の育成に努める。
2002年にRSGを設立。所属ライダーは全て国際ライダーへ昇格させ、
5名の鈴鹿8耐参戦ライダーを育てた。2015～2017には、
「RSG8耐プロジェクト」を企画。九州から鈴鹿8耐に参戦、初年度には
1年間だけ現役復帰し完走を果たす。 RSGレーシング コーチ兼監督。

